

インドネシア 首都周辺でのデモ発生について

ご参考資料 2012年10月4日

10月3日にインドネシアで起きた労働者による大規模デモにつきまして、現地の状況および市場への影響等をご説明いたします。

10月3日、インドネシアの首都ジャカルタ周辺を含む全国各地の複数の工業団地で、労働者による大規模なデモおよびストライキが起きました。非正規従業員の正社員化や賃金の引上げ等の待遇改善を要求するデモやストライキは、かねてから労働組合の連合組織であるインドネシア労働組合評議会(MPBI)によって計画されており、10月3日に全国80カ所以上で一斉に決行されたものです。ストライキは全国21県・市で行われ、参加人数はおよそ200万人に上ったとされ、多くの日系企業が工場の操業を停止しました。MPBIは、同日の午後4時にストライキの終了を宣言し、警官隊との大きな衝突はなくデモやストライキは終了しました。

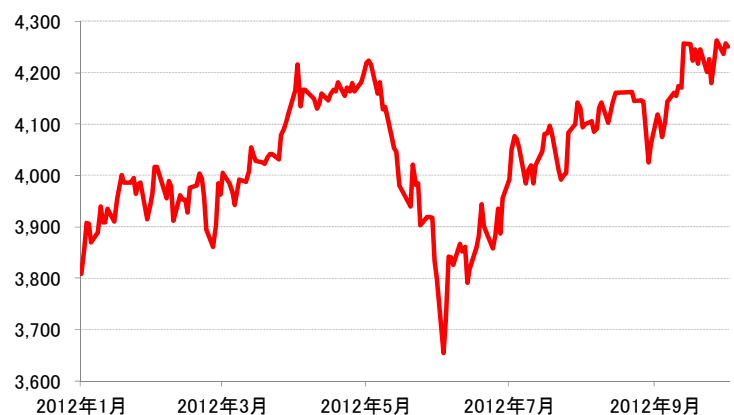
インドネシアの労働法では、正規労働者の解雇が難しく、多くの労働者が残業手当や社会保険のないパートタイマーとして雇用されており、待遇の改善を求める声は以前から上っていました。

インドネシアにおいて、労働法の改正は以前から課題となっており、今回のデモを受けた政府の対応に注目が集まることが予想されますが、既得権益層の反対も強いことから、解決には長期間を要すると考えられます。現実的には、企業ごとに残業代や社会保険等の待遇改善を行うなどの個別対応が予想されます。

当社グループのシンガポール運用拠点の株式運用担当部門では、今回のデモは特定の業種や企業を狙ったデモではなく、待遇改善を求める平和的なものであったと見ています。今後、労使問題が先鋭化するなどのリスクについては十分注視していく方針ですが、今回のデモによるインドネシアの株式市場等への影響はなく、また現時点において、当社グループが運用するポートフォリオへの影響はありません。

＜ご参考＞年初来のジャカルタ総合指数の推移

(ポイント)



出所: Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

期間: 2012年1月2日～2012年10月3日

※当資料は情報提供のみを目的とするもので、特定の金融商品等の販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

PCAアセット・マネジメント株式会社は、2012年2月14日付けで商号を「イーストスプリング・インベストメンツ株式会社」に変更いたしました。
英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とはなんら関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 社団法人 投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会